

景気動向指数 平成 23 年 9 月分（速報）の概要

9月のC I（速報値・平成17年=100）は、先行指数：91.6、一致指数：88.9、遅行指数：85.9となった。（注）

先行指数は、前月と比較して2.2ポイント下降し、2ヶ月連続の下降となった。3ヶ月後方移動平均は0.53ポイント下降し、4ヶ月振りの下降、7ヶ月後方移動平均は0.57ポイント下降し、5ヶ月振りの下降となった。

一致指数は、前月と比較して1.4ポイント下降し、2ヶ月連続の下降となった。3ヶ月後方移動平均は0.50ポイント下降し、4ヶ月振りの下降、7ヶ月後方移動平均は0.77ポイント下降し、7ヶ月連続の下降となった。

遅行指数は、前月と比較して1.7ポイント上昇し、2ヶ月連続の上昇となった。3ヶ月後方移動平均は0.57ポイント上昇し、3ヶ月振りの上昇、7ヶ月後方移動平均は0.03ポイント上昇し、2ヶ月連続の上昇となった。

一致指数の基調判断

景気動向指数（C I一致指数）は、下げ止まりを示している。

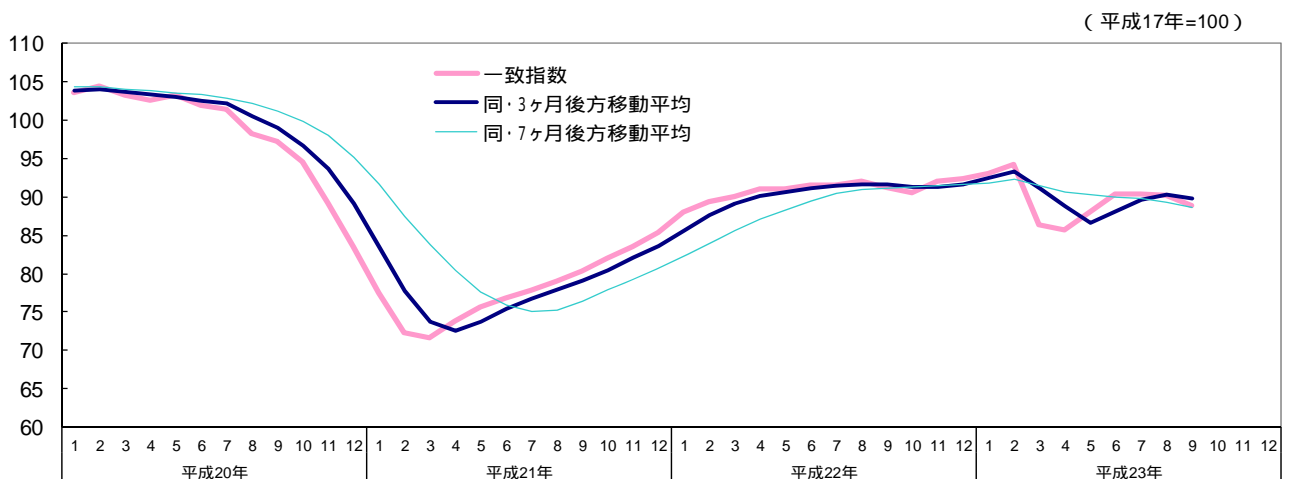
一致指数の前月差に対する個別系列の寄与度は以下の通り。

寄与度がプラスの系列	寄与度	寄与度がマイナスの系列	寄与度
C11：有効求人倍率(除学卒)	0.15	C6：投資財出荷指数(除輸送機械)	-0.40
C5：所定外労働時間指数(調査産業計)	0.13	C10：中小企業出荷指数(製造業)	-0.37
C7：商業販売額(小売業)(前年同月比)	0.10	C1：生産指数(鉱工業)	-0.35
C3：大口電力使用量	0.02	C4：耐久消費財出荷指数	-0.29
		C8：商業販売額(卸売業)(前年同月比)	-0.24
		C2：鉱工業生産財出荷指数	-0.14
		C9：営業利益(全産業)	-0.06

「C9 営業利益」は現時点では算出に含まれていないため、トレンド成分を通じた寄与のみとなる。

なお、各個別系列のウェイトは均等である。

一致指数の推移



（注）23年9月分より、景気動向指数の第10次改定を反映した指数に切り替わっている。なお、現時点で得られる値のみで求めた。